



赤神山

赤神山
(あかがみやま)
赤神山とは、太郎坊大神様がお鎮まりになる近江国高天原、すなわち太郎坊山の御名です。



↑ 太郎坊宮HP ↓

発行日 令和六年六月三十日
題字 陸軍大将 一戸兵衛
発行者 太郎坊宮社務所
編集者 松井佑一
東近江市小脇町二三四七番地



『乾漆天狗面』

制作年代不明
縦二一五mm・横一六〇mm・奥一九〇mm

お火焚大祭を知る

太郎坊・阿賀神社宮司 奥田素之

太郎坊宮最大のお祭り、お火焚大祭。

毎年、十二月の第一日曜日（令和六年は

十二月一日）に行われるこのお祭りは、

「赤神山採燈大護摩供」とも称される。

神主と修験者が一心となつて崇敬各位の

祈願達成を念じつつ、数万本の護摩木を

焚き上げる神道護摩の儀式である。

そもそも、護摩とは炎に供物を投じて

祈願をしたり、災いを滅して心身を清め

たりする儀式をいう。太郎坊宮に護摩の

儀式がもたらされたのは随分古いようで、

赤神山の中で厳しい修行に励んだ修験者

達が始まりと考えられている。その後、

真剣な祈りを神さまへ届ける護摩儀式は

この地に根付き、長い年月にわたり受け

継がれていくこととなる。

当神社を描いた古い図には「籠殿」や

「コモリ堂」と称する建物が見られるが、

人々はこうした御殿の中で護摩を焚き、祈りを捧げたといわれる。今日まで続くお火焚大祭の源流は、正にここにある。



(右) 昭和中期のお火焚大祭。山中で護摩が焚かれている。

お火焚大祭の最中には数多くの儀式が行われるが、それぞれに神仏の御加護を仰ぐ意味合いが込められている。

紙面の都合により一部のみ触れるが、先ずは、集った修験者が大祭を勤めるに相応しい者かを見極める「山伏問答」。修験者同士が古典のような口調で言葉交わすこの場面は、修験道の奥秘を語り人々を悟りに導く瞬間でもある。

(下) 修験者が吹く法螺の音は、悪を払う獅子の咆哮。



そして、人間の精神を煩わせ、身体を悩ませる煩惱の根源を断つ「法斧の儀」、東西南北・中央・鬼門の各方向へ法矢を放ち、神仏の守護を祈る「法弓の儀」が行われる。



(右) 法斧の儀。祈願詞を唱えたのち、大きく斧を振るう。

(左) 法剣の儀。目に見えぬ魔と対峙しつつ、剣を抜く。



その後も、悪鬼災を薙ぐとともに自身に菓食う魔を滅するための「法剣の儀」などが行われる。

こうした一連の儀式ののち、修験者の総師である採燈師が御神前に歩み出て、崇敬者一同の祈願の趣旨を記した願文を神仏に対し謹んで申し上げる。この時、神主や修験者だけではなく、お参りしている全員が真心を込めて拝礼し、願いの達成を祈るのである。



(右上) 大祭で用いる祝詞。



(右下) 整列する修験者。

(右) 護摩壇から立ち上る神煙。採燈師による儀式が続く。



願文を申し述べると、遂に御神前から頂いた聖なる火炎が護摩壇に灯される。瞬く間に煙が立ち上り、修験者の読経が響くなか、崇敬者各位の願いが託された護摩木が焚き上げられていく。そして、**護摩木は神煙へと姿を変じ、天高くまで願いを昇らせるのである。**

お火焚大祭における儀式の真理とは、人の内外に漂う悪災を断ち切って心身を清浄にし、神仏の尊きご加護を請い願うことにある。崇敬者各位には是非お火焚大祭に参詣し、抱く心願を護摩木に込め、誠の祈りを捧げられたい。



ご祈願記入例

- 家内安全 合格祈願
- 商売繁盛 学業成就
- 厄除祈願 病室平癒
- 諸願成就 無病息災
- 諸難消滅 良家祈願
- 開運祈願 安産祈願
- 交通安全 子政祈願
- 必勝祈願 神慮感謝

★自分で水引結を
ほどこすことで
護摩木に更なる
祈りを込める、
特別体験も受付
しています。
所要時間 十五分
奉納料金 三千円



※お火焚大祭で祈願をする「護摩木」は、
神社内各受付所でお授けしているほか、
郵送によるお届けも行っています。
ご希望の方は「住所・氏名・護摩木の
種類と本数」をご連絡ください。
右から 護摩木 (特大) 三〇〇〇円
(大) 一〇〇〇円
(小) 三〇〇円



心に抱く願いが成就するように――
あなたの想いを神さまへお伝えいたします
しんがんどしようじゆ きととう
神駿即現
心願成就ご祈禱
勝運授福

あなたが胸に抱く願いが叶うよう、その
心の想いを阿賀大明神・太郎坊権現さまに
お伝えする、ご祈禱。

- ・神駿即現
- ・神様の御利益がすぐに現れる
- ・勝運授福

全てに打ち勝つ力と福を授ける

このように称えられる当神社の神さまの
ご加護をお受けください。

- ◆受付時間 九時～十七時 (年中無休)
- ◆受付場所 本殿 (一名～八名)

拝殿 (一名～四〇名)
祈禱殿

◆ご祈禱料 金五、〇〇〇円から

社務日誌(抄)
参集殿日誌(抄)

一月 歳旦祭

敬神講社新春祈願祭
東近江ロータリークラブ様
新年例会

外務省主管米国交流派遣事業

おももりづくり体験

古神札等焼納祭

献灯講講社祭

敬神講社評議員会

功績者表彰式典

龍神舎改修事業竣工式

敬神講社講元役員会

(各地域支部毎に開催)

二月

節分厄除大祭

厄除招福神事

紀元祭

氏子渡御祭打合会

商家に伝わる雛人形めぐり

共催ひな人形展

聖徳太子一四〇〇年・悠久の

近江魅力再発見委員会様

第五回委員会

天長祭

祈年祭

氏子総代就退任奉告祭

諸祭事を斎行しました

◆日米友好のKAKEHASHIへ
外務省が主管するアメリカ交流派遣事業
KAKEHASHI Project。当
神社では二十一名を
お迎えしました。

境内散策のほか、
伝統文化『おももり
づくり』にも挑戦。
おももり袋の模様に
込められた意味や、
日本人がおまもりを
大切に持つ理由など、
興味が尽きない様子
でした。



◆功績者表彰式典を行いました

太郎坊宮の護持発展に功績のあった方を
表彰する式典を挙りました。
本年受章された方は、左記の方々です。

東近江市	岡崎	嘉一	様
甲賀市	岡崎	治雄	様
甲賀市	藤川	豊	様
東近江市	宮部	庄七	様
長浜市	池崎	忠司	様
蒲生郡	茶谷仙太郎		様

◆氏子渡御祭が戻ってきました

感染症の影響等により、しばらく規模が
縮小されていた
渡御祭。本年は
従来通りの姿に
復して斎行され
ました。前日の
宵宮祭では松明
神事も行われ、
にぎやかな春の
お祭りが戻って
きました。



◆神社の装束たちを展示中です

今年のNHK大河ドラマでも見どころと
なっている、貴族の
華やかな装束。日本
伝統の文化に触れて
頂く場として、所蔵
する装束を展示して
います。風雅な平安
文化をご覧下さい。



※土日祝日の九時〜十七時。
拝観無料です。

三月 桃の節句ひなまつり茶会

例祭

四月 東近江バイオレッツ様

必勝祈願祭

氏子渡御祭

東近江春祭り

出張おまもりづくり体験

ももいろクローバーZ

高城れに様参拝

五月 近江の聖徳太子連絡会様

社寺宝物展開催

神仏習合法要祭典

神社の装束たち展開催

御田植大祭

レイカディア大学様

史跡探訪

SEA TO SUMMIT

びわ湖・東近江大会開催

清水小脇まちづくり委員会様

箕作山ハイキング

敬神講社評議員会

敬神講社支部講社祭

(各地域支部毎に開催)

六月 夏越大祓式

毎月 十五日 古神札等焼納祭

二十三日 月次祭

二十八日 赤神不動尊月次祭

◆ 拝殿でのご祈禱を受付しています

新たに拝殿（国定登録有形文化財）で、ご祈禱や神前結婚式（国定登録有形文化財）の受付を開始します。大太鼓の鳴動により心身を引き締め、古式同様にご神前を拝み、厳かなご祈禱により神様の尊いご加護を祈念します。

※土日祝日は予約不要。平日は要予約となります。



◆ 祝詞書写奉納を開始しました

皆様へ思いを届ける言葉、祝詞。願いを込めて書写し、尊いご加護を頂く。特別な体験のご案内です。

※奉納料金二、〇〇〇円・約二〇分で完成・お守り贈呈



◆ SEA TO SUMMIT開催

(株)モンベル社と東近江市が共催する、シートウーサミット。各地域固有の文化や大自然の魅力を学びながら、アウトドアスポーツを満喫するイベントです。

五月度の大会では太郎坊宮がゴールとなり、大会長の小椋正清東近江市長らが完走者を迎えました。



◆ 今後の主な神事予定

- ◆ 夏越大祓式（六月三十日）
- ◆ 献茶祭（七月二十日）
- ◆ 観月祭（九月十七日）
- ◆ 太郎坊宮敬神講社本部主催研修旅行（十月中旬予定）
- ◆ 秋季講社大祭（十一月一日）
- ◆ 一願成就社報恩祭（十一月三日）
- ◆ 新嘗祭（十一月二十四日）
- ◆ 献菊祭・菊花展（十一月上旬）
- ◆ お火焚大祭（十二月一日）
- ◆ 師走大祓式（十二月三十一日）

太郎坊尊の大祭典、千日大祭のご案内(七月二十日～二十一日)

—千日大祭に参拝すれば、

千日間の参拝と

等しきご利益を得る—

こう言い伝えられる、太郎坊宮・千日大祭。「太郎坊尊の大祭典」と讃えられた千日大祭は、数百年の歴史を持つ祭礼です。

今年も古式にのっとり、諸願成就の大祈禱を執り行います。大祈禱では、皆様に太郎坊宮の神様の尊いご加護があるようにお祈りし、巫女が神楽の舞を奏でます。

また、大祭の期間中は境内をライトアップし、神秘的な空間を描き出します。

◆千日大祭 大祈禱

(午前九時から午後四時)

千日大祭期間中のみ行う大祈禱。特別祈願神札等をお授けします。



◆千日大祭 各種催し

◆奉納提灯点灯(十八日～二十四日)
神様へと献じられた提灯の明かりが、境内全域を彩ります。

◆特別な「おまもりづくり」
千日大祭期間中だけの特別なおまもりづくり体験をご用意。

◆奉納ふうりん受付
風鈴の短冊に願いを書き、涼やかな音色と共に神様へささげます。毎年好評のふうりんの絵付け体験も参集殿で開催します。

◆千日大祭参拝記念ご朱印
千日大祭の期間中にご参拝された方へ特別な御朱印をお授けします。

◆奉納花火大会
七月二十日(土)

二〇時頃から打上予定として計画を進めています。



新しい授与品の紹介

◆カラフル勝守(かちまもり) 1000円

はなやかな色系を用いて織り上げた、勝利のお守りです。

毎日の積み重ねが目的を達成する力となる様、祈願しています。全三種類。



表紙解説

今号表紙は当神社の神使である天狗を模った面を取り上げました。「赤ら顔で鼻高く、鋭き双眼千里を睨む」との伝承通り、威厳に満ちた大天狗の姿を忠実に表しています。本作の制作技法である「乾漆」とは、麻布や和紙を漆材で張り重ねたり、漆と木粉を練り合わせて成形したりする工法です。天狗面は、お火焚大祭中に修験者が額に着ける法具の一つでもあります。